

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(5)-ア	高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり	施策	①高齢者の社会参加の促進
			施策の小項目名	○多様な就業機会の確保
主な取組	再就職を希望する高齢者への支援、企業の高齢者雇用への意識啓発		対応する成果指標	老人クラブ加入率の全国順位
施策の方向	・高齢者が個々の経験や知識を生かし、地域社会において活躍し続けられるよう、多様な就業機会の確保に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
再就職を希望する高齢者のさまざまなニーズに対応した就労を支援するため、県内各圏域においてきめ細かいマッチング機会を提供するほか、社会保険労務士等の専門家による企業向けのセミナーを実施する。	県	再就職を希望する高齢者のさまざまなニーズに対応した就労支援等の実施、企業の高齢者雇用の周知広報			
		延べ支援者数(累計)、企業向けセミナーの開催回数(累計)			
		—	50人 2回	50人(100人) 2回(4回)	
担当部課【連絡先】	商工労働部雇用政策課		【 098-866-2324 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域巡回マッチングプログラム事業			予算事業名	地域巡回マッチングプログラム事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	18,631	14,549	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	14,850
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内各圏域において求人開拓を行うとともに、高齢者を含むすべての求職者を対象とした合同就職説明会・面接会を5回開催する。				県内各圏域において求人開拓を行うとともに、高齢者を含むすべての求職者を対象とした合同就職説明会・面接会を5回開催する。		
予算事業名	事業主向け雇用支援事業			予算事業名	事業主向け雇用支援事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	22,147の一部	19,734の一部	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	20,474の一部
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
専門家による高齢者雇用支援施策に関するセミナーを7回開催した。同事業において雇用相談窓口の開設、助成金制度の案内冊子作成の取組も行った。				専門家による高齢者雇用支援施策に関するセミナーを開催する。同事業において雇用相談窓口の開設、助成金制度の案内冊子作成の取組も行う。		

活動指標名	延べ支援者数(累計)、企業向けセミナーの開催回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	29	—	0.0%	概ね順調	高齢者を含むすべての求職者を対象とした合同就職説明会・面接会を5回開催し、29名の高齢者に就労支援を行った。 また、企業向けに高齢者雇用支援施策(助成金等)に関するセミナーを実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<ul style="list-style-type: none"> ・再就職を希望する高齢者29名に就職支援を行った。 ・企業向けに社会保険労務士等の専門家による高齢者雇用支援施策に関するセミナーを7回実施した。 	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
—	再就職を希望する高齢者への支援、企業の高齢者雇用への意識啓発につながるセミナーを実施した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主に対し、70歳までの就業機会確保措置の努力義務があること、高齢者を雇用する際に活用できる助成金制度があること等について周知広報の取組をさらに強化する必要がある。 	⑤ 情報発信等の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・特に北部地域や離島地域の事業主に対する周知広報を行い、より多くの事業主が参加できるようオンラインによるセミナーを開催する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(5)-ア	高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり	施策	①高齢者の社会参加の促進
			施策の小項目名	○多様な就業機会の確保
主な取組	シルバー人材センター等への支援		対応する成果指標	老人クラブ加入率の全国順位
施策の方向	・高齢者が個々の経験や知識を生かし、地域社会において活躍し続けられるよう、多様な就業機会の確保に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
定年退職者等の高齢者に対して、地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や高齢者社会参加の促進を図るなどのため、沖縄県シルバー人材センター連合および新設シルバー人材センターに対する運営費を支援する。	県,市町村,シルバー人材センター連合	高齢者に対し就労と生きがいづくりを提供し、地域活性化を図ることを目的としたシルバー人材センターの運営を支援			
		シルバー人材センター会員数			
		6,968人	7,372人	7,800人	
担当部課【連絡先】	商工労働部雇用政策課		【 098-866-2324 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 高齢者雇用対策事業				予算事業名 高齢者雇用対策事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	補助	14,144	14,254	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	補助	15,492
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
沖縄県シルバー人材センター連合に対する運営費の助成を行い、活動を支援した。				沖縄県シルバー人材センター連合および新設シルバー人材センターに対する運営費の助成を行い、活動を支援する。		

活動指標名	シルバー人材センター会員数		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	5,554人	5,587人	5,712人	6,968人	82.0%	概ね順調	シルバー人材センター事業の啓発・普及活動等を促進している沖縄県シルバー人材センター連合に対する運営費の助成を行い、活動を支援した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>会員数は平成29年度から令和元年度まで増加し、令和2年度に新型コロナの影響によりいったん減少したものの、令和3年度からは再び増加傾向にある。高齢者の就業機会の拡大に取り組み、計画達成に向け、市町村シルバー人材センターと連携・協力をし、高齢者の入会促進と退会者の抑制、就業機会の開拓・拡大等に取り組んでいる。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>シルバー人材センターの未設置町村が多い(23町村)ことから、アンケート調査や情報交換会を実施することによりセンターの新設を働きかけ、新設町村に対する助成の活用を促す。 沖縄県シルバー人材センター連合および各市町村シルバー人材センターと連携して周知活動を行い、新規会員の獲得と退会者の抑制を図るとともに、企業、家庭、官公庁などに対する就業開拓に取り組み、就業機会の拡大を図る。</p>	<p>令和4年度に北中城村にシルバー人材センターが設立され、新設シルバー人材センターの運営基盤を早期に強化するため、令和5年度からの運営費補助に向けて北中城村と情報交換等を行った。 そのほか23町村に対しては引き続きシルバー人材センター連合と連携しながら新設の働きかけを行った。 沖縄県シルバー人材センター連合および市町村シルバー人材センターの啓発活動等により、周知・開拓に取り組んだ。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<p>シルバー人材センターにおいて新規会員を獲得していくためには、就業機会の拡大が必要となるため、特に公共からの事業発注の確保を図る必要がある。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑧ その他	<p>県で所管する指定管理者制度を導入している施設等において、シルバー人材センターを積極的に活用してもらうため、各部局および各任命権者に対し協力依頼を促していく。</p>